

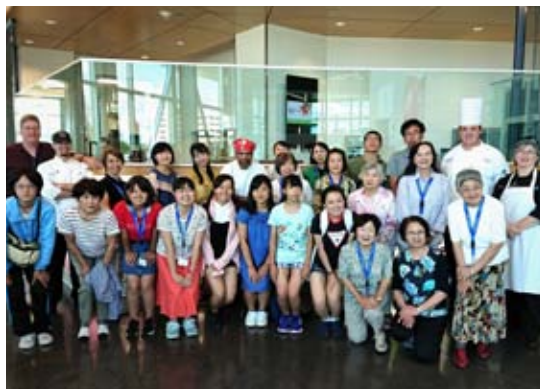


Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2018年9月30日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域自治課内
☎055-934-4717
FAX055-931-2606
<http://www.nice-numazu.org/>



カラマズー市訪問 ことばの壁を越えて更なる交流を!



▲平成30年7月19日(木)から市民訪問団及び高校生がカラマズー市を訪問

カラマズー部会

カラマズー市に行って

高校生ホームステイ体験 高橋ミラノ

ミシガン州カラマズー市に到着し、立派なシティホールの前で現地の皆さまが私たちを迎えてくださいました。たくさんの緑、綺麗な湖、野生のシカやウサギ、リスなどの豊かな自然で溢れた土地でした。たったの2週間という期間ではありましたが、充実した異文化体験をすることができました。そこで、特に印象的であった3つの場所の感想を報告いたします。



1つ目はAir Zooという場所です。100機以上の航空機や宇宙船が展示されています。一つ一つに説明がついていて、使用されていた時代、目的その背景でどのようなことがあったか、様々な発見がありました。その施設の壁には細かい絵がかいてあり、全て手書きとのことでした。また気候への理解にも力を入れていました。ハリケーンの対処法、実際の被害など日本には知ることのできない状況を知ることができました。そして男女平等への運動が活発に行われるようになってきた現代よりはるか昔の第二次世界大戦で1000人以上の女性パイロットが活躍したという事実に衝撃を受けました。もちろん戦争はたくさんの命を奪い合う、絶対にしてはならないことですが、自国のために立ち上がり、男性と差別されながらも戦った勇敢な女性たちの言葉に感銘を受けました。女性だからという理由で名誉も、利益も得ることが出来なく、帰りの費用は自分で払わされたそうです。私はアメリカでアメリカ人と日本人が第二次世界大戦の資料を読み、ひどいことですねと話ができる時代になったことに感謝したいです。また、ここでは様々なアトラクションもあります。ホストシスターと楽しく過ごすことができました。

2つ目はVicksburg Historic Villageという場所です。ここでは日本とは大きく違う文化を学ぶことができました。生肉の運搬をどのように行っていたか、新聞印刷の歴史、小学校内での男女の区別などたくさんありました。

初めて見るような道具ばかりで驚きの連続でした。また、現在にもものこっているquiltなどの物もありました。過去の文化も大切にしたい気持ちはどの国にも強くあるのだと感じました。

**近畿日本
ツーリスト**

(株)近畿日本ツーリスト首都圏

沼津支店

☎055-963-0496

3つ目はAmish villageという場所です。ここではシンプルな昔ながらの生活をします。女性は長いワンピースに帽子、男性はクラシックなシャツとズボンを着ます。男性はひげを伸ばします。自動車ではなく、馬車や自転車で移動するため、コミュニティの周辺はまるで映画の世界のようです。私は彼らの存在をホストマザーから初めて聞きました。日曜日のファームマーケットではとってもおいしいクッキーやパイを販売していて、自給自足の生活を目で見て実感することができました。この生活は日本では絶対に見ることのできない光景なので馬車を見ていたら乗っている男性が手を振ってくださいました。もし沼津にもこのような人々がいたら私



のようにほとんどの人がじろじろと見ると思いますが、ここではお互いの生活を尊重していて素敵なものだと思います。この出来事は私の目標であった異文化理解へよい影響となりました。

反省点は3つあります。1つ目は積極的に話せなかったことです。せっかくの機会なので質問をしっかりと考えたり、疑問をためらわずに聞くべきだったと思います。2つ目はルームメイトと生活のルールなどを決めなかったことです。お互いの生活環境が違う中でいきなり生活を一

緒にするのでしっかり話し合うべきであったと思います。特にお風呂の使い方などです。この旅では社会勉強ができたと思います。初めて会った人とのコミュニケーションや自分とは違う人とかかわりあいは学校では学べないこと



であるので参加してよかったと感じています。またミシガンの良さをたくさん知ることができました。買い物に行く友達がたくさんいて、自然が多いのですぐに散歩に行けたり、会ったことのない人でも気さくに話せたり、人と人との距離が近いとても仲のいい場所でした。



カラマズー市に行つて

高校生ホームステイ体験 田頭南帆子

私はカラマズー市に2週間（14日間）滞在して、少し苦手なものが減ったように思います。前までは犬が苦手だったのに、そんなに怖くなくなって初対面でも逃げることがなくなったり、好き嫌いがある、アイスだとバニラアイス以外は食べられなかったのがいろんな味のアイスに挑戦できたりするようになりました。他にも、日本ではよくお腹が痛くなる（腹を下す）ことが多かったのが、完全になくなりました。また、ホームステイ宅で料理の手伝いをよくしたので、日本に帰ってきて自分でよく料理をするようになりました。前までは親に頼りっきりだったので良い経験になったと思います。



私はカラマズーに滞在している間、いろいろなことを経験しましたが、中には驚くようなこともたくさんありました。例えば、家の中は靴だけでなく裸足で歩いたりしますが、庭も裸足で歩いていたこともあります。台所には食器洗浄機やオーブン、レンジがついていて収納もバッチリ。家の中も外も広く、犬はもちろん放し飼い（電気ショック付きの首輪がついていて、一定の所より遠くへ行かない）。森や林が多くて、これではあまり地球温暖化なんて意識しないかとも思いました。アメリカ人の人たちとも話しました。が、あまり通じなかったのもっと英語を勉強したいと思いました。

こうしてきた中では、カヌーに乗ったり、水上スキーができそうなボートに乗ったり、水陸両用車に乗ったりしました。



また、運送会社やマジックショー、動物園に行ったりもしました。



ホームステイ先では、ホストファミリーの方々と一緒に卓球をしたり散歩をしたり、映画館に行ったり海岸に行ったり、バッファローを見に行ったり博物館に行ったりしました。



アメリカは涼しくて過ごしやすくて良かったです。また機会があれば参加したいと思います。



岳陽部会
中国岳陽市から行政研修生が来沼

9月中旬から約3ヶ月間、岳陽市旅游発展及び外事僑務委員会の市場開発課に勤めている張弛ちやうちさんが行政研修生として沼津に滞在します。彼は岳陽市の観光開発の仕事に携わり、観光パンフレットの企画・立案の仕事をしたり、外国からの来賓の通訳をしたりしています。もちろん日本語も日本語能力試験N1を取得していて流暢に話します。アニメなどを通じて日本の文化や歴史を知り日本に興味を持った今どきの若者です。

学びたいのは、日本語だけじゃない。


彼は結婚し現在3歳の子供がいます。実は私が彼に初めてあった時、もうじき子供が生まれるという話を聞いた事を思い出しました。去年岳陽へ市民訪問団として行った時も、みんなの通訳をしてお世話をしてくれました。今回は市役所で約3ヶ月間、地域自治・文化振興・観光戦略・広報広聴・水産海浜の各課に配属され、多くの事を学び、この先中国に戻りこの経験を生かして沼津と岳陽の距離をもっと近づけて欲しいと思います。



もし彼に会ったら是非一言“こんにちは・你好ハロー”と声をかけてみてください。 遠藤裕昭

“女性と女兒の生活を支援・女性の人権を守る”

これらを目標において国内外で奉仕活動をしています。

国際ソロプチミスト駿河 会長 加藤 啓子
国際理解教育部会
NICEにほんごスピーチコンテスト開催!!

- 日 時 10月6日(土) 14:00~16:30
- 場 所 沼津市立図書館4F視聴覚ホール

出場者の方の日本での体験、自国との違いなどをユーモラスにスピーチして頂き、毎年新たな発見や気づきをさせてもらっています。違った角度から日本を感じる貴重な時間となることでしょう。



出場者の方々にはコンテスト後に交流

の場を設けましたので、普段接点のない人たちとたくさん交流し、色々なことを感じていただきたいと思います。多くの方のご来場をお待ちしております。


■日程変更のお知らせ■

12月1日(土)の「沼津にほんご教室」は12月22日(土)に日程を変更いたしました。

